

# 書道

No.478

令和2年 6月号



蘭亭図卷 (万曆本) 明 東京国立博物館蔵  
王羲之が好んだ鵞鳥を見ている場面。



同上 流觴曲水の宴の場面。右から二人目が王羲之。



「事」の縦面の起筆について

「事」の縦画は一般的には一画で書きます。ところが、縦画の起筆を見ると点のように強く押さえたように見えてくる文字もあります。

そこで蘭亭序の「禊事」「随事」「殊事」の三種の「事」を大琳先生がP9に試書したのがイ(口)ハです。「エ(なべぶた)」「J」か「J」のどちらで書いたほうがよいでしょうか。調べてみると永寿二年甕に「事」が二カ所ありますが、「前事」「吏事」ともに「エ」「J」と表現していることがわかります。書道大字典を見ると、石門頌、張遷碑、史晨碑に「エ」「J」で表現した例を見ることができません。(二)は草書の例です。※印は横画または点で表現していることが理解できます。

「事」の縦画を「J」と決めつけしないで、「エ」「J」と書く方がふさわしい文字もあることがわかりました。  
(高橋空谷)



1



2



3

(蘭亭序より)



※「事」の文字が二つあります。注目して下さい。

(永寿二年甕)

東京都書道博物館蔵



書道大字典より

事  
 唐九成宮碑  
 唐皇甫誕碑  
 唐孔子廟堂碑  
 唐道因法師碑

事  
 唐多寶塔碑  
 唐顏勤禮碑  
 隋蘇慈墓誌  
 北魏元詮墓誌  
 東魏王假墓誌  
 北魏鄭義下碑  
 北魏論經書詩  
 北魏弔比干墓文  
 北魏

事  
 宋爨龍顏碑  
 宋爨龍顏碑陰  
 晉爨寶子碑  
 晉庚翼  
 興福寺斷碑  
 晉王羲之蘭亭序  
 晉

事  
 唐歐陽詢事帖  
 唐虞世南時帖  
 唐虞世南汝南公主墓誌  
 唐陸柬之賦  
 唐杜牧好好詩  
 唐張

事  
 晉王羲之澄滿堂帖  
 晉王羲之十七帖  
 陳智永千字文  
 吳皇象急就章  
 唐李懷琳交書  
 唐絕

事  
 唐太宗屏風書  
 新撰類林抄  
 唐孫過庭譜  
 唐賀知章經孝  
 唐懷素敘帖  
 空海風信帖

事  
 漢熹平石經  
 漢乙瑛碑  
 漢史晨碑  
 漢石門頌  
 漢楊淮表記  
 漢西狹頌  
 漢鄭固碑

事  
 漢魯峻碑  
 漢尹宙碑  
 漢孔廟禮器碑  
 漢孔廟禮器碑陰  
 漢曹全碑  
 漢張遷碑  
 漢張遷碑陰  
 魏曹真殘碑陰

事  
 魏正始石經  
 說文篆文  
 說文古文  
 魏正始石經  
 石鼓文  
 袁安碑

事  
 籀文  
 史頌蓋  
 秦公蓋  
 申鼎  
 陳猷釜  
 伊蓋  
 胸蓋  
 師族蓋  
 甲骨文



永壽二年甕より



石門頌より



漢張遷碑より

この「事」の点の問題の真実は不明です。一つには蘭亭序は真筆が残っていないことです。しかし、いかなることに疑問を持つことは大切なことと言えます。

(大琳)

(ロ)



(イ)



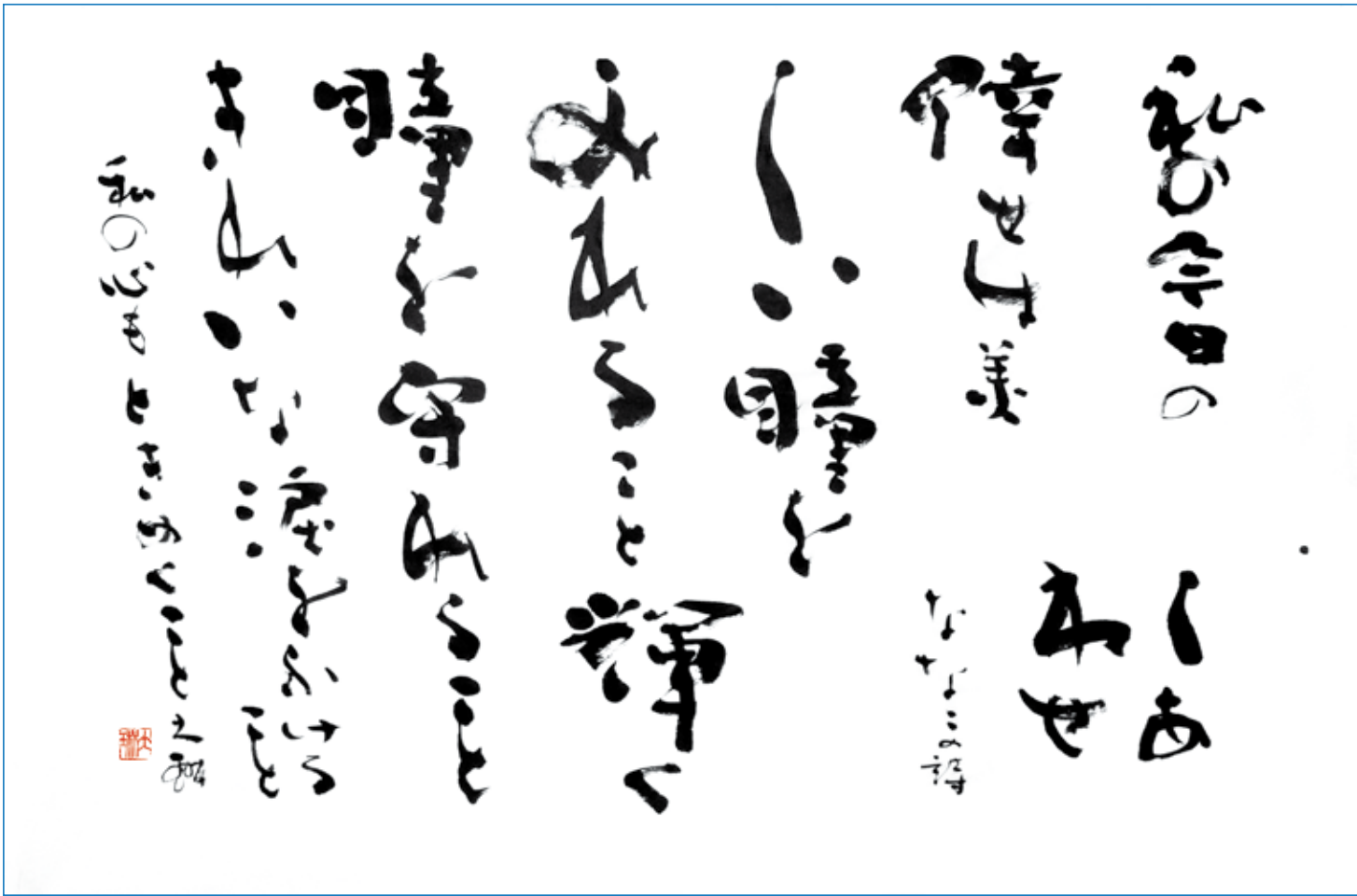
(ニ)



(ハ)







2020

6  
June

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

「しあわせ」  
 ななこの詩

私の今日の倅せは  
 美しい瞳をみれること  
 輝く瞳を守れること  
 きれいな涙をふけること  
 私の心もときめくこと

